JA全農ぐんま

全力結集で挑戦し、未来を創る

県本部通信 7

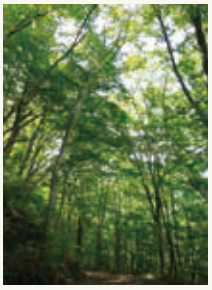
2019 July
No.207

Monthly Zen-noh Gunma

Contents

事業のうごき	2
インフォメーション	3～5
農業チャレンジャー	6
JAピックアップ！	7
アートクッキング	裏表紙
花木流通センター便り	裏表紙

谷川岳 利根郡みなかみ町



群馬県と新潟県の県境にある谷川岳は、日本百名山のひとつです。

谷川岳には広範囲にブナ林が分布しています。ブナの保水力は極めて高く、樹齢200年のブナの木が蓄える水の量は、1本あたり年間8トンともいわれています。

約40年前の上越新幹線大清水トンネル掘削工事の際に、谷川岳の地下1,000m地点から湧き出た水は、今もJR東日本の駅構内などで販売されています。

谷川岳のおいしいお水は、田畑を潤し農作物を育てるとともに、たくさんの方々に親しまれています。

私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき

JA群馬担い手サポートセンター

○ JA生産販売計画の実践と目標達成に向けた取組支援
○担い手の経営強化のための経営管理支援
○ JA営農経済部門の人材育成支援
○TAC活動等 JAの出向く体制強化支援
○大規模経営農家・法人等の経営安定化支援
○ JA野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
○農産物の安全・安心確保対策
○園芸作物生産実証農場の運営

畜産農産部

◆酪農畜産課

○生乳計画生産の推進
○初妊牛導入推進
○素牛導入推進
○種豚導入推進
○渋川家畜市場の和牛及び乳用牛の集荷・販売推進

◆米麦特産課

○平成30年産民間流通麦引取推進
○令和元年産民間流通・ビール大麦集荷推進
○令和２年産民間流通麦播種前契約推進
○こんにゃく推進セット夏期特別推進　（７月～８月）
○「麦とろ麺」特別推進　（７月～９月）
○こんにゃく荒粉・精粉販売推進（入札の実施）

園芸部

◆園芸販売課

○共計ほうれん草販売　（周年）
○共計チンゲンサイ販売　（周年）
○共計味にら販売　（周年）
○共計県統一規格きゅうり販売　（７月末日迄）
○共計バンダム販売　（７月末日迄）
○共計にがうり販売　（９月末日迄）
○共計オクラ販売　（９月末日迄）
○共計県統一規格露地なす販売　（11月末日迄）

◆販売促進課

○夏秋野菜販売促進
○もやし類・加工野菜販売促進
○漬物類・こんにゃく類販売促進
○花き類販売促進

◆園芸資材課

○夏用出荷資材予約・当用推進
（キャベツ・トマト・なす等）
○青果物予冷庫推進（パナソニック）
○ネポン暖房機推進（第２期・７～９月）
○廃プラスチック適正処理推進
○秋まき用種子推進
（ブロッコリー・ほうれん草・きゅうり等）

生産資材部

◆花木流通センター

○恒例 夏の大売り出し　７月19日（金）～22日（月）

◆肥料農薬課

○セルフブレンド推進
○施設園芸肥料推進
○茎葉処理除草剤大型規格推進
○バンカーシート推進

◆農業機械課

○アグリマシンフェア2019　７月13日（土）・14日（日）

◆施設住宅課

○賃貸アパート・個人住宅推進　（周年）
○カクイチ物置・広スペースハウス推進　（周年）
○住友不動産（株）「新築そっくりさん」推進　（周年）

生活部

◆生活課

○太陽光発電推進　（周年）
○シロアリ防除事業推進　（周年）
○上州もみ切りうどん　（６月～７月）
○高崎ハムお中元ギフト・関連商品推進（６月～８月）

◆葬祭総合課

○会員獲得推進の実施

◆石油課

○JA－SS夏のキャンペーン　（７月～８月）

◆ガス課

○ガス器具推進　（４月～ 12月）

出張！食育教室「畑&プランターに野菜苗を植えて育てよう！」

５月13日（月）、前橋市内の認定こども園たちばなで、花木流通センター職員による食育教室が開かれ、３歳から５歳の園児約60人が参加しました。年長の園児は、園内の畑に小玉すいかの苗２本とミニトマトの苗５本を植え、年中・年少の園児は、プランターにオクラの苗３本とピーマンの苗２本を花木流通センターの坂田担当に教わりながら順番に植えていきました。坂田担当は「園児たちが自分で育てた新鮮な野菜を収穫し食べることで、農業や食の楽しさを感じてもらいたい」と話しました。

全農杯 全日本卓球選手権大会群馬県予選

５月18日（土）、前橋宮城体育館にて「全農杯全日本卓球選手権大会」が開催され、128人の子供たちが熱戦を繰り広げました。ＪＡ全農は卓球競技をサポートし、子供たちの健やかな心身の成長と未来の夢を応援しています。当県本部は、県予選会での子供たちの健闘をたたえ、更なる活躍を願い、県産農畜産物を副賞として提供しています。参加者全員にコンニャクゼリー、１位から３位にＪＡ高崎ハム詰合せセットなどを贈呈しました。県予選を勝ち抜いた選手は、７月に神戸市で開かれる全国大会に出場します。

肥料・農薬基礎研修会

５月22日(水)、肥料農薬課は「肥料・農薬基礎研修会」を開催し、各ＪＡの営農経済渉外担当者、営農指導員、購買担当者等44人が参加しました。研修会では、農薬や肥料・土壌の基礎的な内容の講習と併せて、会員制ＪＡ支援サイトの利用方法を紹介し、作物ごとの施肥基準に合わせた施肥設計案を作成できるシステムなどを学びました。受講者は、生産者のニーズに合った資材を提供できるよう、メモを取りながら熱心に受講していました。

危険物取扱者(乙4)事前準備講習会

５月24日(金)、石油課は危険物取扱者(乙４)試験へ向けた準備講習会を開催し、ＪＡ−ＳＳ担当者など14人の受験予定者が参加しました。研修会では、危険物の性質や法令、合格するためのポイント、過去問題の解説等についての講義が行われ、参加者は本試験に向けて、真剣な表情で熱心に受講していました。なお、６月20日(木)・21日(金)には、特訓講習会を行い、万全の態勢で６月23日(日)の本試験に臨みました。

第31回 ぐんまこんにゃく祭り

５月29日の「こんにゃくの日」にちなみ、25日(土)にららん藤岡で「第31回ぐんまこんにゃく祭り」が開催されました。群馬県におけるこんにゃく芋の収穫量は、全国の９割を占める本県の特産品で、会場では試食販売や手作り体験などさまざまなイベントが行われ、その知識普及と消費拡大が図られました。当県本部米麦特産課が事務局を務める群馬県蒟蒻生産協会は、こんにゃくの種芋約300kg(500人分)を無料配布。行列ができるほどの大盛況となりました。

運転適性検査

５月27日(月)にＪＡビル正面玄関前で、群馬県農協交通安全対策協会・(公財)群馬県交通安全協会協力のもと、職員の交通安全の啓発と交通事故の未然防止に向けてコンプライアンス推進課主催の「運転適性検査」が実施されました。この検査は今年度のコンプライアンス推進・リスク管理実施計画に基づくもので、当日は、新入職員を始め19人が選択反応検査などの適性診断を受けました。検査終了後には運転適性結果票が手渡され、それぞれの受検者に合った運転の仕方と注意指導が行われました。受検者からは「自分の運転を見つめ直す、いい機会になった」との声が聞かれました。

第14回 人形供養祭

６月２日(日)、ＪＡアシストホールたかさきにおいて、14回目となる「人形供養祭」が実施されました。共に過ごした大切な人形やぬいぐるみ約800体に感謝を込めて、慈眼寺住職による読経と参列者による焼香が行われました。会場では、ＪＡの葬祭事業を身近に感じてもらえるようにと、事前相談会や完成したばかりの家族葬専用式場の内覧、棺の入棺体験やシニア体操なども行われ、多くの来場者で賑わいました。

TAC活動研修会【初級】

５月28日(火)、ＪＡ群馬担い手サポートセンターは、「TAC活動研修会【初級】」を開催し、５ＪＡのTAC担当者他12人が出席しました。TAC活動の基本となる担い手対応の必要性や役割の説明と担い手対応スキルアップ研修として「コミュニケーション能力アップ講座」が行われました。参加者は、グループ討議などを通して、円滑に会話を進めるうえで必要な聞くことの重要性や質問の手法を学びました。

畜魂祭

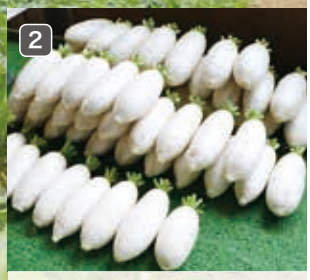
６月３日(月)、㈱群馬県食肉卸売市場において「畜魂祭」が行われ、生産者や流通、ＪＡ関係者約250人が出席しました。この式典は、豊かな食生活に資するために命を捧げた家畜に感謝し、その魂を慰めることを目的に毎年開催されています。昨年度は、肉豚514,313頭、肉牛13,431頭の取扱いがありました。参列者は、命を捧げた多くの家畜の安らかな冥福を祈りました。

農業チャレンジャー

農チャレ

生産者で一致団結 産地の確立を目指す！

JA佐波伊勢崎管内 大橋 功範さん



1辛味大根は、春と秋に収穫しています。アレッタのTシャツは、アイロンでワッペンを付けてアーミー風にアレンジしたそうです。
2出荷調整された辛味大根。すりおろして、しらすと和えて食べるとおいしいです。

\ Profile /

大橋 功範（おおはし・かつのり）さん

1979年生まれ　39歳
JA佐波伊勢崎青年部 境支部長
栽培面積：露地野菜…200a
趣　　味：FMぐんまを聞くこと。

―今回の農業チャレンジャーは、JA佐波伊勢崎管内の伊勢崎市境下渕名で露地野菜を生産する大橋さんです。

―就農のきっかけは？

就農前は、祖父母が農業を営んでいましたが、年々農作業が体の負担になっていました。JA職員だった父の定年退職を機に話し合い、一緒に農業をやることを決めました。勤めていた会社を辞めて、就農し8年目になります。

―就農してみていかがでしたか？

就農の翌年からJAの青年部に入りました。青年部には、同級生や知人がいたので、どんな作物を栽培したら良いか、栽培方法なども教えてもらい、管理的な面ではそれほど困ったことはありませんでした。

―現在は、どんな作物を栽培していますか？

今は辛味大根を収穫しています。（取材日：6月上旬）その他に順次、枝豆、ブロッコリー、アレッタ、ちぢみほうれん草を栽培しています。

―そのTシャツと帽子は「アレッタ」ですね。

そうなんです。生産者の中に元デザイナーがいて、パッケージやのぼりも含めデザインしてくれました。

―こちらの地域で生産が始まるまで、あまり聞いたことがない野菜でしたが、どのような経緯で？

青年部の仲間で新しい野菜を始めてみようと話し合い、最初はスナップエンドウを栽培してみましたが、うまくいきませんでした。さかい営農センターの町田所長（現営農支援課長）に相談したところ、既に生産していたブロッコリーに栽培方法が似ていて、栄養価も高い「アレッタ」を勧めていただきました。7軒の農家で始め、4年目の今シーズンは2軒加わり、14軒で生産します。

―今後の目標・意気込みを教えて下さい。

これから「アレッタ」の播種が始まりますが、生産者で足並みを揃えて品質の良いものを消費者にお届けしたいと、今から方向性の話し合いを始めています。一昨年、エコファーマーの認定を受け、有機質資材の施用にも取り組んでいます。今のところ、全国的にも生産者は少ないので、伊勢崎地区を産地化して、定番野菜になれるように生産者で協力して取り組んでいきたいです。

―地元生産者で一致団結し、高品質の野菜作りと産地化に取り組む大橋さんに、今後さらなる活躍が期待されます。

JA PICK UP！

JAの活動をご紹介　JAピックアップ！

JAはぐくみ

▲ 迫真の演技に見入り自転車事故の怖さを体感する生徒（7日、高崎市で）

減らそう自転車事故 高崎北高生、怖さ体感

自転車事故の怖さを再認識してもらおうと、JA共済連群馬やJAはぐくみ、高崎警察署は5月7日、自転車交通安全教室を高崎市の県立高崎北高校で開きました。生徒ら約720人が参加。スタントマンが迫真の演技で交通事故を再現し、生徒は自転車事故の怖さを肌で感じました。

地域住民が豊かで安心して暮らせる地域社会をつくることを目的に、JA共済の地域貢献活動の一環で実施。県警や交通安全協会と連携して2010年度から行い、JAはぐくみ管内では初めて開きました。

交通政策の専門家らでつくる「自転車の安全利用促進委員会」によると、全国の高校生1万人当たりの通学時事故件数は群馬県がワースト1位（17年）。自家用車保有台数全国1位の「車社会」ということも危険性を高めている一因とみられています。

交通安全教室では、スタントマンが「ながらスマホ」や傘差し運転、交差点での出会い頭の衝突などさまざまな事故を再現。点字ブロック上に駐輪することで起こりうる事故にも触れ「普段から時間と心に余裕を持って生活してほしい」と呼び掛けました。

JA嬬恋村

食育レシピ本完成 「嬬恋キャベツのおいしさの秘密」

吾妻農業事務所とJA嬬恋村女性部が共同制作をして親子を中心に食に関する農業への理解を深め、レシピを見て料理の幅を広げてもらうことでキャベツの消費拡大につなげるため、「嬬恋キャベツのおいしさの秘密」という食育レシピ本を作成しました。

村内の写真やたくさんのイラストを載せて、お子さんでも分かりやすい内容になっています。

この本は嬬恋村内の小中学校の生徒に1人1冊ずつ配布し、県内主要6市にも、寄贈する予定です。

また嬬恋キャベツの出荷が始まる6月以降に、JA嬬恋村や嬬恋村観光協会等で嬬恋キャベツの消費宣伝で活用するとともに、各種イベントで配布することで嬬恋キャベツをPRしていきます。

▲ 食育レシピ本を共同制作したJA嬬恋村女性部の皆さん

JAみどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更となることがあります。

GTV 48ch　放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時　間
安全・安心の国産若鶏を食べよう！／群馬農協チキンフーズ	7月8日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※7月14日(日)	AM 8:00～ 8:30
3年連続日本一！夏秋なす／JAにったみどり	7月15日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※7月21日(日)	AM 8:00～ 8:30

能登　瑶子アナ

Art Cooking

枝豆サラダのロールサンド

Food adviser **石垣 惠美**

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材　料

5個分　　（1個分268kcal）

- ロールパン……5個
- むき枝豆……120g
- じゃがいも……大1個
- マヨネーズ……大さじ3強
- ヨーグルト……大さじ1
- 酢……小さじ1
- ハチミツ……小さじ1
- 塩……小さじ1/4
- コショウ……少々
- レタス……2枚
- トマト……1個

作り方

1. 枝豆は、熱湯に塩を加えサッと茹でる。
2. じゃがいもは、皮つきのまま一口大に切り茹でてつぶす。
3. 2のじゃがいもにマヨネーズ・ヨーグルト・酢・ハチミツ・塩・コショウを入れ、1の枝豆も加えて混ぜ、味を調える。
4. レタスは大きめにきざみ、トマトは薄く半月切りにする。
5. パンはトーストして、真ん中に切り目を入れる。
6. 5のパンにレタス・トマト・枝豆ポテトサラダをはさむ。

花木流通センター イベント情報

開催日	フェア etc
7月19日㈮～22日㈪	恒例　夏の大売り出し

開催日	講習会 etc
7月3日㈬	ディップ液で今月のお花を作ろう（ミニバラ）
7月6日㈯	栽培講習会～秋冬野菜は種～（ブロッコリー・キャベツ・白菜ほか）
7月10日㈬	ハーバリウムランプを作ろう
7月20日㈯	食肉卸売市場　上州牛・上州麦豚試食販売会
7月21日㈰	アロマサシェを作ろう（ワックスバー）
7月27日㈯・28日㈰	メダカ・金魚まつり
7月31日㈬	アロマサシェを作ろう（ワックスバー）

●毎週火曜定休となります。
●毎週金曜日パンの日…サンドイッチ全品2割引き

いよいよ本格的な夏を迎えます。梅雨が終わると植物が一気に育ち始めます。同時に厄介な雑草もたくさん出てきます。

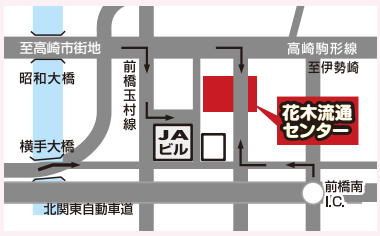
園芸資材館では、除草成分に加え防虫効果も期待できる商品や、耐久性の高い防草シートなど、とても便利な商材を取り揃えております。お庭のお手入れ、ガーデニングに是非当店の商品をお試しください。

皆様のご来店心よりお待ちしております。

KABOKU
花木流通センター
新鮮ぐんま みのり館

営業時間 9:00～18:00　6月～2月 毎週火曜日定休

一取扱品目一
□園芸資材館/営農・園芸資材等□ふらわーらんど/鉢花、花苗等□JA植木コーナー/緑花木、盆栽等□エクステージ/外構・造園工事等□新鮮ぐんまみのり館/産直野菜、農畜産加工品、手作りパン・ハム・食堂等□外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



前橋市亀里町1307-1
TEL027-220-2427 FAX027-220-2424

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて
『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。
《あて先》〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番　JA全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail：info-gunma@gm.zennoh.or.jp ※JAメール等でも結構です。

□発行／令和元年7月1日発行　□発行人／高津　育雄　□ホームページアドレス／https://www.gm.zennoh.or.jp　□E-mail／info-gunma@gm.zennoh.or.jp
□発行所／全国農業協同組合連合会群馬県本部　管理部企画経理課　〒379-2147 前橋市亀里町1310番地　TEL027-220-2223　Fax027-220-2234

R100 古紙配給率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK この印刷物は大豆インキを使用して制作しています。